



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション
コード番号 6674 URL <http://www.gs-yuasa.com/jp>

代表者 (役職名) 取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) コーポレート室 部長
四半期報告書提出予定日 平成28年2月3日
配当支払開始予定日 —

(氏名) 村尾 修
(氏名) 渋谷 昌弘

TEL 075-312-1211

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	265,308	△0.4	14,153	5.9	14,269	△6.3	6,627	△22.3
27年3月期第3四半期	266,462	10.8	13,365	36.9	15,233	34.0	8,530	73.7

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 705百万円 (△95.4%) 27年3月期第3四半期 15,215百万円 (189.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第3四半期	16.06	14.96
27年3月期第3四半期	20.67	19.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	355,153	180,794	44.7
27年3月期	359,522	182,187	44.9

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 158,787百万円 27年3月期 161,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	3.00	—	7.00	10.00
28年3月期	—	3.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	375,000	1.4	21,000	0.4	21,000	△6.1	11,000	9.5	26.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規制」第10条の5に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信[添付資料]3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(4)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	413,574,714 株	27年3月期	413,574,714 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	814,349 株	27年3月期	798,946 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	412,769,309 株	27年3月期3Q	412,793,717 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	3
(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
(四半期損益の推移)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績全般の動向

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一昨年4月の消費増税後の反動減の影響は一巡したものの、昨年4月の軽自動車税増税や夏場における天候不順の影響などにより個人消費が低迷し、また中国経済の減速などを背景に輸出が力強さを欠き、景気は足踏みの状況で推移しました。

世界経済に目を転じますと、中国においてはこれまで経済をけん引してきた製造業における投資や不動産市場における開発投資が抑制されたことに加え、信用取引の規制強化などを契機に株価が急落するなど、景気が一段と減速しました。また、それに伴い東南アジア各国において中国向けの輸出が減少したことや各国の国内経済が低迷したことにより成長ペースが鈍化しました。一方、米国においては個人消費が持ち直し景気は回復基調で推移しました。また、欧州においても堅調な個人消費により景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような経済状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、海外では為替の円安による影響で増加したものの、国内では携帯電話基地局向け電源装置および太陽光発電用電源装置の販売が減少したことや、車載用リチウムイオン電池の販売が減少したことなどにより、2,653億8百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて11億53百万円減少(△0.4%)しました。

当第3四半期連結累計期間の利益は、為替の円安による影響やリチウムイオン電池事業の収益性改善などにより、営業利益は141億53百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて7億87百万円増加(5.9%)しました。これに対し、経常利益は、海外拠点での現地通貨安による為替差損の発生により、142億69百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて9億63百万円減少(△6.3%)しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失として連結子会社の事業清算による整理損を16億円計上したこともあり、66億27百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて19億3百万円減少(△22.3%)しました。

②報告セグメント別の動向

(国内自動車電池)

売上高は、自動車生産台数の低迷などにより新車メーカーへの販売が伸び悩んだことや、暖冬に伴い補修用電池の販売が減少したことなどもあり、374億79百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて10億44百万円減少

(△2.7%)しました。セグメント損益は、販売は減少したものの補修用電池の価格改定により、22億57百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて3億58百万円増加(18.9%)しました。

(国内産業電池及び電源装置)

売上高は、携帯電話基地局向け電源装置の需要が一巡したことや、電力会社の接続保留の問題などで太陽光発電用電源装置の低迷に加え、デジタルカメラ用充電器の販売減少などにより、495億64百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて42億84百万円減少(△8.0%)しました。セグメント損益は、販売減少に伴い、30億85百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて7億34百万円減少(△19.2%)しました。

(海外)

売上高は、為替の影響などにより、1,420億45百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて99億26百万円増加(7.5%)しました。セグメント損益は、為替の影響に加えて主原料である鉛相場下落により、88億57百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて12億92百万円増加(17.1%)しました。

(リチウムイオン電池)

売上高は、国内自動車販売の低迷を受けてハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売が低迷したことなどにより、287億92百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて60億17百万円減少(△17.3%)しました。セグメント損益は、生産の効率化が順調に進んだことなどにより、4億60百万円の損失ながら前第3四半期連結累計期間に比べて11億33百万円改善しました。

(その他)

売上高は、特殊電池の販売が好調に推移したことなどにより、74億26百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて2億66百万円増加(3.7%)しました。全社費用等調整後のセグメント損益は、次世代に向けた研究開発費用が増加したこともあり、4億13百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて12億62百万円減少(△75.3%)しました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、需要期を控えて棚卸資産が増加しましたが、売上債権の回収が進んだことにより、3,551億53百万円と前連結会計年度末に比べて43億69百万円減少しました。

負債は、設備関係支払手形の支払や流動負債のその他に含まれる未払消費税等の減少により、1,743億58百万円と前連結会計年度末に比べて29億76百万円減少しました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益や非支配株主持分の増加がありましたが、配当金の支払や当第3四半期連結会計期間末の為替相場が前連結会計年度末と比較して円高に変動したことによる為替換算調整勘定の減少により、1,807億94百万円と前連結会計年度末に比べて13億93百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年10月29日の「平成28年3月期 第2四半期決算短信」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

①連結の範囲の重要な変更

当第3四半期連結会計期間より、持分法を適用していない関連会社であったYuasa Battery (Malaysia) Sdn. Bhd. 及びYuasa Power Systems (Malaysia) Sdn. Bhd. は株式を追加取得したため、連結の範囲に含めております。

②持分法適用の範囲の重要な変更

当第3四半期連結会計期間より、İnci GS Yuasa Akü Sanayi ve Ticaret Anonim Şirketiについては新たに株式を取得したため、持分法適用の範囲に含めております。

(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 平成27年3月31日	当第3四半期連結会計期間 平成27年12月31日
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,841	24,285
受取手形及び売掛金	79,348	70,427
有価証券	1,200	—
商品及び製品	33,526	39,811
仕掛品	14,051	14,611
原材料及び貯蔵品	12,336	12,317
繰延税金資産	2,440	2,382
その他	9,959	10,499
貸倒引当金	△445	△315
流動資産合計	177,259	174,020
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	52,729	49,534
機械装置及び運搬具（純額）	40,202	35,646
土地	22,533	22,368
リース資産（純額）	1,668	1,477
建設仮勘定	2,553	4,210
その他（純額）	4,977	4,189
有形固定資産合計	124,665	117,427
無形固定資産		
リース資産	564	443
その他	2,073	3,496
無形固定資産合計	2,637	3,940
投資その他の資産		
投資有価証券	42,555	45,191
退職給付に係る資産	7,513	9,941
その他	5,202	5,266
貸倒引当金	△383	△693
投資その他の資産合計	54,887	59,706
固定資産合計	182,190	181,074
繰延資産	72	59
資産合計	359,522	355,153

(単位：百万円)

	前連結会計年度 平成27年3月31日	当第3四半期連結会計期間 平成27年12月31日
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,682	36,982
短期借入金	32,766	29,492
コマーシャル・ペーパー	—	4,000
未払金	15,521	15,870
未払法人税等	2,265	1,843
設備関係支払手形	1,248	602
その他	16,078	14,297
流動負債合計	104,564	103,087
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	25,000	25,000
長期借入金	24,399	23,592
リース債務	1,403	1,069
退職給付に係る負債	3,644	3,414
その他	18,322	18,194
固定負債合計	72,771	71,271
負債合計	177,335	174,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,021	33,021
資本剰余金	54,880	54,880
利益剰余金	46,498	49,202
自己株式	△341	△349
株主資本合計	134,058	136,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,618	9,776
繰延ヘッジ損益	△5	6
土地再評価差額金	2,329	2,329
為替換算調整勘定	11,792	6,203
退職給付に係る調整累計額	3,592	3,715
その他の包括利益累計額合計	27,328	22,031
非支配株主持分	20,801	22,007
純資産合計	182,187	180,794
負債純資産合計	359,522	355,153

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 自 平成26年 4月 1日 至 平成26年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 平成27年 4月 1日 至 平成27年12月31日
売上高	266,462	265,308
売上原価	209,499	204,471
売上総利益	56,962	60,837
販売費及び一般管理費	43,597	46,684
営業利益	13,365	14,153
営業外収益		
受取利息及び配当金	477	592
持分法による投資利益	1,559	1,604
為替差益	317	—
その他	830	653
営業外収益合計	3,184	2,850
営業外費用		
支払利息	681	795
為替差損	—	1,338
その他	635	600
営業外費用合計	1,316	2,734
経常利益	15,233	14,269
特別利益		
固定資産売却益	79	22
投資有価証券売却益	10	84
段階取得に係る差益	—	171
その他	10	10
特別利益合計	101	288
特別損失		
固定資産除却損	170	876
固定資産売却損	0	2
関係会社整理損	—	1,600
その他	367	409
特別損失合計	537	2,889
税金等調整前四半期純利益	14,796	11,668
法人税等	5,582	3,896
四半期純利益	9,213	7,772
非支配株主に帰属する四半期純利益	683	1,144
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,530	6,627

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 自 平成26年 4月 1日 至 平成26年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 平成27年 4月 1日 至 平成27年12月31日
四半期純利益	9,213	7,772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,880	164
繰延ヘッジ損益	△19	11
為替換算調整勘定	2,422	△5,284
退職給付に係る調整額	1,019	122
持分法適用会社に対する持分相当額	699	△2,081
その他の包括利益合計	6,002	△7,066
四半期包括利益	15,215	705
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,970	1,331
非支配株主に係る四半期包括利益	1,245	△625

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 自動車電池	国内産業 電池及び 電源装置	海外	リチウム イオン電池	計		
売上高							
外部顧客への売上高	38,524	53,848	132,119	34,810	259,302	7,159	266,462
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,169	1,876	1,245	280	4,570	△4,570	—
計	39,693	55,725	133,364	35,090	263,873	2,588	266,462
セグメント利益又は損失 (△)	1,898	3,820	7,565	△1,594	11,689	1,675	13,365

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。セグメント利益の調整額は△1,731百万円であり、セグメント間取引消去△1,057百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△673百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

- 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 自動車電池	国内産業 電池及び 電源装置	海外	リチウム イオン電池	計		
売上高							
外部顧客への売上高	37,479	49,564	142,045	28,792	257,882	7,426	265,308
セグメント間の内部 売上高又は振替高	971	2,187	1,058	378	4,596	△4,596	—
計	38,451	51,752	143,104	29,170	262,479	2,829	265,308
セグメント利益又は損失 (△)	2,257	3,085	8,857	△460	13,739	413	14,153

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。セグメント利益の調整額は△1,792百万円であり、セグメント間取引消去△1,077百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△715百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外」セグメントにおいて、連結子会社での会社清算に向けた準備手続き開始に伴い、所有している固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を「関係会社整理損」に含めて特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において793百万円であります。

4. 補足情報

(四半期損益の推移)

平成28年3月期 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (H27/4-6)	②第2四半期 (H27/7-9)	③第3四半期 (H27/10-12)	④第4四半期 (H28/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	81,642	89,507	94,159	—	171,149	265,308	—
営業利益	3,109	3,705	7,338	—	6,814	14,153	—
経常利益	3,044	4,004	7,220	—	7,049	14,269	—
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	951	2,665	3,010	—	3,616	6,627	—

平成27年3月期 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (H26/4-6)	②第2四半期 (H26/7-9)	③第3四半期 (H26/10-12)	④第4四半期 (H27/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	82,321	89,199	94,940	103,298	171,521	266,462	369,760
営業利益	3,109	4,492	5,762	7,548	7,602	13,365	20,914
経常利益	3,763	5,039	6,430	7,124	8,802	15,233	22,357
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	2,342	2,856	3,331	1,513	5,198	8,530	10,043

平成26年3月期 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (H25/4-6)	②第2四半期 (H25/7-9)	③第3四半期 (H25/10-12)	④第4四半期 (H26/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	65,632	82,278	92,557	107,526	147,911	240,468	347,995
営業利益	1,609	2,130	6,022	8,435	3,739	9,762	18,197
経常利益	2,658	2,421	6,290	8,963	5,079	11,369	20,333
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	127	2,917	1,866	5,070	3,045	4,912	9,982

平成25年3月期 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (H24/4-6)	②第2四半期 (H24/7-9)	③第3四半期 (H24/10-12)	④第4四半期 (H25/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	62,900	64,581	68,396	78,631	127,481	195,878	274,509
営業利益	1,426	2,630	2,405	3,311	4,057	6,463	9,775
経常利益	1,927	3,025	3,207	4,099	4,952	8,159	12,258
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,062	2,085	2,371	248	3,147	5,519	5,767

平成24年3月期 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (H23/4-6)	②第2四半期 (H23/7-9)	③第3四半期 (H23/10-12)	④第4四半期 (H24/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	60,348	71,546	73,358	80,180	131,895	205,253	285,434
営業利益	812	3,985	4,129	7,103	4,797	8,927	16,030
経常利益	1,186	3,881	4,934	7,989	5,067	10,002	17,991
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	131	2,344	3,251	6,005	2,476	5,727	11,733